

2021年度 法科大学院

第2期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5) 下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6) 参照は不可となっています。
- (7) 解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文1]

以下の文章は、某大学社会学部の2年生であるA君がゼミの教員に提出した「夏休み調査計画書」の一部である。これを読んで、続く問いに答えなさい。

今年の夏休みは、「官庁のクールビズと女性職員の服装」というテーマで調査を行い、レポートをまとめる予定です。昨年度は、聞き取り調査の手法を身につけることが目標でした。先生に聞き取りのセッティングしていただいた企業や官庁のうちでとくに印象に残っているのが、東京の霞ヶ関にある中央省庁の合同庁舎と大学近くの県庁です。

どちらもクールビズの期間中に訪問したのですが、霞ヶ関の庁舎で応対して下さった女性は、濃いブルーのスカートと白地に水色のストライプのブラウスという服装でした。濃いと言っても、けっこう明るい青でした。私の感覚では、明るい青は、どちらかと言えば派手です。でも、けばけばしいという印象は受けませんでした。それどころか、とても清潔なイメージで、職場環境にフィットしていました。執務室の広さは先生の研究室の3倍程度ですが、書類棚がいくつも置かれているせいか、狭く感じました。職員数は15人ぐらい、女性はたしか4人でした(1)。私から見ればそれぞれにおしゃれな装いでしたが、全体としてずいぶん爽やかな空間になっていたと思います。官庁では女性も男性と同じように地味な格好をしておられると思い込んでいましたので、ともかくびっくりしました。執務室の入口に「クールビズの期間中は、職員は軽装で勤務させていただきます」という張り紙がありましたが、「軽装」の意味を考えないといけないようです。

この経験がありましたので、県庁に行ったときも、女性職員の服装に注意を払いました。実際に入ったのは環境農政局だけでしたが、それでもかなりの大所帯で、女性職員もたくさんおられました。ところが、その装いは、たいてい茶色と白の取り合わせでした。最初はつまらないと思って見ていたのですが、だんだんそうでもないと思うようになりました。うまく説明できないのですが、それぞれどこかが違うのです。後で同行の市谷さんに意見を求めましたら、「みなさんそれぞれおしゃれを楽しんでおられるようだよ」と言っていました。帰り際に、クールビズの期間中の服装について何か決まりがあるかどうか尋ねましたが、そのとき聞き出せたのは、「当庁舎を訪問される方々に不快感を与えることのないよう落ち着いた服装で勤務すること」というメールが庁舎全体に廻っているということだけです。

本年度の調査では、まず、クールビズ期間中の服装について指示が出ているかどうか確認します。そして、その指示だけでは実践的な指針が得られない場合に、いったい何が服装選択の決め手になっているのか考えてみます(2)。調査先を3つぐらい増やしたいと思います。

問1 下線部(1)に記されているような事実は、A君の今後の研究にとってどのような意味をもつのだろうか。あなたの考えるところを400字程度で述べなさい。

問2 A君は県庁訪問でどのような成果を得たのか、下線部(2)のような調査予定項目が記載されていることを念頭に置いて、あなたの思うところを600字程度で記しなさい。

[小論文 2]

下記の【課題文】を読み、【問 1】から【問 3】までの問題に答えなさい。

【課題文】

天声人語 朝日新聞 2020 年 7 月 24 日より引用

【問 1】(10 点)

課題文に挙げられたもの以外に、現代社会に存在する「ダブルバインド」の例を、1つ書きなさい。

【問 2】(20 点)

コロナ禍における情報発信に関し、課題文は何を言いたいのか、説明しなさい。

【問 3】(20 点)

「ダブルバインド」にさらされた場合、どのように対処すればいいのかについて、自己の見解を述べなさい。